

【談話】子どもたちを感染の危険にさらすパラリンピック

「学校連携観戦プログラム」の中止を求めます

2021年8月24日

緑の党グリーンズジャパン
共同代表 橋本久雄

東京都は、オリンピック開催時にも子どもたちの観戦事業を強行しようとしてきましたが、多くの自治体が参加を返上したことから中止しました。

当時よりも感染者数が増え、特にデルタ株による子どもの感染が広がる中での事業の実施は許されません。

8月18日に開催された東京都教育委員会では出席した4人の委員全員が反対したにもかかわらず、議決を要しない報告事項として無視されました。明らかに法律に違反しています。

私たち緑の党の全国運営委員でもある漢人あきこ都議会議員は8月19日の都議会臨時会で「子どもたちをコロナ感染の危険にさらす『学校連携観戦プログラム』は、各自治体に参加判断を任せるのではなく、東京都として実施中止とするべき」と求めました。

緑の党グリーンズジャパンは改めて、パラリンピックにおける「学校連携観戦プログラム」の強行に抗議し、実施の中止を求めます。